

広 報

2021
令和3年



奥出雲

3

No.192

布勢幼稚園 放水体験



今月号の主な内容

令和3年町長施政方針 2

「たたら製鉄が生んだ奥出雲の資源循環型農業」が
世界農業遺産候補に承認されました 6

もうすぐピカピカの1年生 8

今年で3年目!! 地域づくりアクション発表会R3 (前編) 10

わたしたちの町

人 □ 12,146人 / 男 5,878人 / 女 6,268人 / 世帯 4,771世帯(3月1日現在)

令和3年町長施政方針

令和3年奥出雲町議会定例会の施政方針演説の内容を広報奥出雲3月号で一部抜粋して掲載します。



1. 最近の情勢

全国においては、再度の緊急事態宣言が一部地域で発せられるなど、依然として新型コロナウイルス感染症の終息が見えない状況が続いています。GOTOトラベルの停止などにより、町内事業者、特に飲食業や旅館業などを中心に消費が落ち込んでおり、大変厳しい状況にあります。こうした状況が長期に及んでいることを踏まえ、国・県などの対策を見極めつつ、引き続き町内経済の回復に必要な対応を行って参ります。

一方で、ワクチン接種の準備が進むなど明るい兆しも見えて参りました。4月以降、65歳以上の高齢者の方、次に基礎疾患のある方及び高齢者施設などの従事者の方、そして一般の方と順次ワクチン接種を行う予定です。

本町においても町民の皆様は、安心してワクチン接種を受けて頂けるよう、また、円滑な接種が行えるよう、3月1日付けで健康福祉課内に「新型コロナウイルスワクチン接種対策室」を設置し、町立奥出雲病院、町内開業医の先生方の協力を頂きながら、準備を進めて

います。

今後、町内の高齢者の皆様へ接種券を送送する予定ですので、接種を希望される方は併せてご案内する方法により、接種の日時場所をご予約頂きますよう皆様のご理解とご協力をお願い致します。なお、ワクチン接種は、全て無料で実施されます。

2. 総合計画

第2次奥出雲町総合計画については、12月議会において中間報告をしました。その後、幹事会、策定委員会、審議会などの議論を経て、2月17日に審議会の会長より答申を頂戴しました。これを基に、町民の皆様に対してパブリックコメントを実施したところです。

目指します奥出雲町の将来像「つながりで築く幸せと笑顔あふれるまち奥出雲町」について、近年、社会情勢の変化により、近所付き合いや地域コミュニティの希薄化が進んでいます。町民の皆様と行政の協働、町民の皆様一人ひとりの活躍が、重要視される時代となっており、地域力の更なる向

上が求められていると考えています。

そのため、まちづくりの主役である町民の皆様や、暮らしの場である地域の主体性と多様性を残しつつ、世代や地域を超えて、まちづくりを自分事と捉え、知恵を出し合いながら、まちづくりに参加できるよう「ひとづくり」「居場所づくり」「仕組みづくり」を進めて参ります。

そして、町民の皆様が自分自身はもとより、仲間や地域が持つ可能性にチャレンジし、自分らしくいきいきと暮らしている町を目指す。町民の皆様にとつて「住み続けたいまち」、町を出た人や町外の人にとつて「帰りたい・住んでみたいまち」「気になるまち・関わってみたいまち」になれるよう全力で取り組む覚悟です。引き続き、ご理解とご協力をお願い致します。

3. 予算の概要

令和3年度当初予算については、第2次奥出雲町総合計画の推進と健全な財政運営の両立を図りつつ、新型コロナウイルス感染症への対応も行っていくための予

算であり、総額は135億6千万円で、令和2年度に対し0.1%、2千万円の増加となっています。

予算編成に際しては、1つにポストコロナ、ウィズコロナを念頭においた対策を講ずる。2つに第2次総合計画を踏まえた施策を講ずる。3つに普通交付税の段階的縮減など歳入が縮小していく中で、既存事業の見直しと点検を講ずることなどを編成方針として掲げました。

令和2年度補正予算については、奥出雲病院への操出金1億900万円、ふるさと応援寄附関係経費3,000万円、除雪経費に2,000万円などの増額、中山間地域等直接支払交付金事業7,200万円、事業継続支援給付金4,500万円、地籍調査事業3,400万円などの減額により、総額約1億5,500万円を減額しております。また、道路新設改良事業など総額約5億5,200万円、17事業を繰り越すこととしています。

4. 社会基盤・生活基盤整備

生活道路整備事業については、

ります。

特産振興については、国営開発畑を中心に栽培されるソバやエゴマ栽培の推進、生産組織・生産者の拡大による産直施設への安定供給や学校給食への提供も推進して参ります。

畜産振興については、令和4年に開催される「第12回全国和牛能力共進会」で、今後の和牛子牛価格と畜産農家の増頭意欲につなげるため、奥出雲和牛を全国にPRできる絶好の機会として上位入賞を目指します。併せて「肉用牛優良繁殖雌牛の保留・導入対策」に積極的に取り組む。県・J・A・和牛改良組合の皆さんと連携して取り組んで参ります。

酪農振興については、優良育成牛の導入助成と和牛受精卵移植を推進し、酪農経営安定のための支援を行って参ります。

世界農業遺産認定に向けた取り組みについては、世界農業遺産認定申請に向けての国内承認を得ることができましたので、申請書を英訳し、FAO国連食糧農業機関に認定申請を行います。

また、日本農業遺産の認定を活かした取り組みについても、農業体験や滞在型観光に向けた「農泊」「横田高校生による「奥出雲学」や小中学校でのふるさと学習、町内でのパネル展示などで情報発信をさらに推進することで、「日本農業遺産認定」による認知度向上と

理浄化槽の設置を10基計画しているほか、施設の長寿命化を図るため、農業集落排水施設の機能保全対策を継続して実施します。

また、公共下水道については、ストックマネジメント計画に基づき施設の調査・更新工事の実施、横田地域の公共下水道と農業集落排水施設の統合に向けた取り組みを進めて参ります。

情報通信インフラ整備については、ケーブルテレビ事業の中心となる施設の設備や、加入者宅に設置してある機器について、計画的に更新を進め、令和3年度は、約1,900世帯の設備更新を計画しています。

雲南圏域における次期可燃ごみの広域処理施設整備に向けた検討については、令和2年度から雲南市・飯南町・奥出雲町の3市町が連携して取組んでいますが、現在、飯南町地内を予定地とした、民間事業者によるごみ処理施設の整備計画が立てられています。このため、令和3年度はこの基本構想に加え、民間連携の可能性調査も実施し、調査結果を踏まえながら費用面やサービス面、スケジュールなどを比較・検討し、雲南圏域にとつて最もふさわしい方法を選択して参りたいと考えています。

ごみの最終処分場施設については、現在の処分場の残余容量が、令和9年度から10年度にかけて満量となる見込みであるのに加え、粗

町道郡三成線、高尾線、亀ケ市線、蔵屋福頼線など11路線について、引き続き改良整備の進捗を図り、この内、角川端線については事業完了を目指す考えです。

また、落石等の災害防除対策や、町道施設の長寿命化対策として、橋梁及び舗装や道路法面の修繕についても、引き続き国の防災・安全交付金などを活用し、これまでに行った点検調査結果に基づき、年次計画で進めて参ります。

除雪機械施設整備事業として、下横田除雪基地に除雪車格納庫を1棟増築致します。

また、地元からの要望が多い河川浄化事業についても、現地を調査し、緊急度の高い所から年次計画により堆積土の除去を実施して参ります。

公園施設整備については、長寿命化計画に基づき、横田公園の管理棟及びテニスコートの改修事業を行い、公園機能の回復や充実を図ります。

また、県事業の推進については、継続事業の早期完成や新規事業の導入に向けて、引き続き国・県への要望活動を行って参ります。

上水道事業については、施設の老朽化解消のため、横田配水池耐震化事業を実施すること致しております。将来の負担に留意しながら、順次施設の更新・整備を進めて参ります。

下水道事業については、合併処



第22回米・食味分析鑑定コンクール国際大会で金賞を受賞したみなさん

5. 産業振興

水稻については、全国の令和3年産米の適正生産量が、令和2年産米と比較して約30万トン減の693万トンとなったことを踏まえ、令和2年より約25ヘクタール少ない1,423ヘクタールの主食用水稻作付面積を目安に決定しました。引き続き、「仁多米」の安定した作付けを推進するとともに、転作の活用も含めた水田の活用と産地化を展開して参ります。

農業の後継者対策については、認定農業者の育成、集落営農組織の法人化を推進していくほか、県の事業を活用した就農パッケージで新規就農者の募集を関係機関、研修受入農業者と連携し支援を強化して参

農産物の更なるブランド化、観光客の誘客につなげて参ります。



世界農業遺産認定承認に向けた2次審査の会場の様子

航空レーザ計測による森林資源と詳細地形データの整備が、令和3年度に完了する見込みであります。県内では先進的な取り組みであり、これらデータを有効に活用していくため、地元森林組合や森林管理局等と連携を図って参ります。

特用林産としての椎茸・舞茸などキノコ類の生産については、近年は市場価格の大幅な下落や新品種の栽培不振などの影響により、町内の椎茸産業は大きな岐路に立っております。現在、コンサルティング会社、金融機関とともに経営改善に向けた取り組みを実施しています。

商工業の振興については、人口減少による地域内需要の減少や社会構造の変化などにより、商工業を取り巻く状況は厳しくなっております。こうした状況に対応するため、商工会が策定する経営発

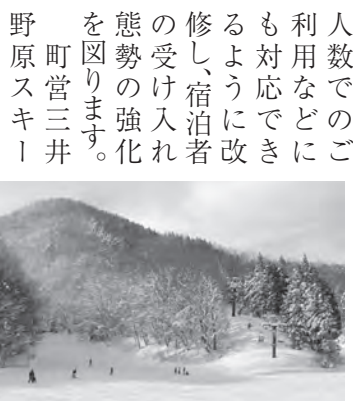
達支援計画に基づく伴走型支援が円滑に推進されるよう連携して参ります。

また、商工業のあらゆる業種で後継者不足が危惧されています。地域産業や地域社会の活力を維持するためにも、事業承継の取り組みを進める必要があります。

起業創業については、「古民家オフィスみらいと奥出雲」の提供や、新たに起業に取り組まれる方へのセミナーをはじめ、個別相談を行って参ります。

観光振興については、SNSを中心に情報発信し、町の魅力を大勢の観光客に感じて頂くよう取り組んでいます。また、イベントについては、その多くが中止または縮小となっていますが、感染症の状況を注視しながら再開に向け、関係団体と協議を進めていく考えです。

サイクリングターミナルについては、施設が老朽化してきているため、大規模改修を実施します。併せて、スポーツ合宿やビジネス、少人数でのご利用などにも対応できるように改修し、宿泊者の受け入れ態勢の強化を図ります。



三井野原スキー場の様子

リフト事業については、昭和45年から運行していましたが、スキー客の減少や昨今の暖冬化などにより、終了することとなりました。

これまで三井野地区の皆様には、長年にわたりご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

6. 地域振興・定住対策

サイクリングターミナル内で移住・定住及び無料職業紹介などの支援を行っている「まち・ひと・しごとセンター」については、施設の改修に伴い、役場仁多庁舎の地域づくり推進課内に移転統合します。

特定地域づくり事業については、「奥出雲町特定地域づくり事業協同組合」を設立し、令和3年度当初より派遣事業がスタートできるよう進めています。町内事業所の担い手不足を解消するとともに、地域住民やU・Iターンの方々が町に長く住み続けるための雇用の場にして参りたいと考えています。

住宅整備支援事業については、子育て世代の転出防止とU・Iターンの促進のため、令和元年度から実施しています。本事業により定住促進だけでなく、住宅投資による地域経済への波及効果などにも一定の効果があるものと考えています。

また、民間の資本による集合住宅施設の建設費を支援する制度を

新たに設けました。

木次線の利活用については、昨年10月に丸山知事にご乗車頂き、木次線の重要性を再認識して頂きました。県



三井野原駅に下車する丸山知事

7. 結婚、出産、子育て

結婚支援については、本町における少子化対策の重要課題の一つです。奥出雲町縁結びネットワーク協議会の支援団体、結婚子育てコンシェルジュや地域サポーターと連携し、個別のマッチング支援のほかイベントなどの出会いの場の提供に引き続き取り組んで参ります。

妊娠、出産支援については、町立奥出雲病院での分娩の取り扱いを3月から止む無く休止することとなりました。外来診療や助産師外来、妊婦検診は継続して行なって参りますが、出産は、町外医療機関で行って頂くこととなります。このため、新たに妊産婦健康診査交通費助成事業を創設し、経済的な支援を行って参ります。

10. 消防・防災対策

消防関係については、令和3年度も引き続き消防団の機動力維持のため、小型ポンプ付き軽積載車の更新を行います。



令和2年度に更新した小型ポンプ付き軽積載車

耐震性防火貯水槽について、設置に向けた測量調査設計を実施致します。防災対策については、「自主防災組織」の育成、防災のリーダー的存在である「防災士の養成と育成を推進し、防災研修や訓練などを実施して地域防災力の向上を図って参ります。

11. 町議会議員選挙

町議会議員一般選挙については、町議会議員の皆様が任期が4月30日で満了となるため、投票票を4月18日に執行することとしております。

引き続き、町政運営へのご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

子育て支援については、休園中の鳥上幼児園を活用した「屋内型子ども遊び場」を開催しました。参加者に対してアンケートを実施し、頂いた意見を参考に、子育て世代が子どもと触れ合う場、親同士の交流の場となるよう事業を継続して参ります。



屋内型子どもの遊び場の様子

8. 医療と介護、福祉の充実

町立奥出雲病院の長年の懸案である医師確保につきまして、4月より新たに3名の常勤医師の確保に目途がつけました。これにより外来や入院診療の充実、介護医療院の運営の他、病院が訪問看護ステーションを運営することで、開業医の先生方と連携しながら在宅医療に力を入れて参ります。

今後は、雲南市立病院との連携を深め、地域医療連携推進法人を設立し、機能分担や感染症対策を共同して取り組んで参ります。

令和2年度から、町内全介護事業者及び町立奥出雲病院、社会福祉協議会、島根リハビリテーション学院にご参加頂き「奥出雲町医

9. 教育、スポーツ、文化振興

療介護ネットワーク」を立ち上げました。急速に進む高齢化・過疎化に伴い、現在の医療・介護体制の維持が困難になることが予想される中、関係者間の連携によるオール奥出雲で実効性のある対策に取り組むものです。引き続き医療と介護が有機的につながる地域包括ケアシステムの構築を目指して取り組んで参ります。

福祉の充実については、新たに人工透析医療通院送迎支援を実施することとしました。送迎サービスを実施している雲南圏域の医療機関に対し、送迎に係る費用の一部を助成します。

小学校再編については、「子ども同士が学び合える学級規模を確保することがこれからの子どもたちの教育環境に最も必要」との考えに基づき、令和4年3月末を校区の意向とりまとめ期限とし、昨年11月から校区別協議会の立ち上げに向けた準備会開催及び協議再開を行って参ります。

横田高校の魅力化については、横田高校生と地域住民とをつなぎ、高校生の力を取り入れて地域課題の更なる解決を図ることを目的に、奥出雲町地域学習拠点施設を整備しました。

GIGAスクールの実施については、端末機器の有効的な活用が

小学生スーパーホッケー交流会

4月から中学校に進学する児童同士の交流を図るため、町教育委員会主催で小学校6年生を対象としたスーパーホッケー交流会が開催されました。例年は町内10校による学校対抗として開催されていますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により2月16日に町民体育館で仁多地域の小学校6校、2月19日に横田中学校体育館で横田地域の小学校4校の交流会がそれぞれ行われました。

スーパーホッケーは、屋内において行う5人制のホッケー競技で、屋外で行うホッケーより軽量のプラスチック製のスティックとボールを使用します。試合は前後半各5分間で行われ、白熱した試合が繰り広げられると、会場には各チームを応援する声が飛び交いました。ホッケー交流会に参加した児童は「学校に関係なく、みんなで交流が深められてよかった」、「球技は苦手ですが、みんなが助けてくれた」、「みんなで中学校に入学することが楽しみ」と心を弾ませて語っていました。



ヤフー株式会社と 災害に係る情報発信等に関する協定を締結しました

奥出雲町はヤフー株式会社と「災害に係る情報発信等に関する協定」を、2月18日に締結しました。協定の内容は、次のとおりです。

①町ホームページへのアクセス負担軽減

災害発生時に、町ホームページへのアクセスが集中し、閲覧しにくいときや見られなくなっている状況が発生したときに、「Yahoo!JAPAN」に町のホームページのコピーを掲載することで、アクセスの分散、負担軽減を図ります。

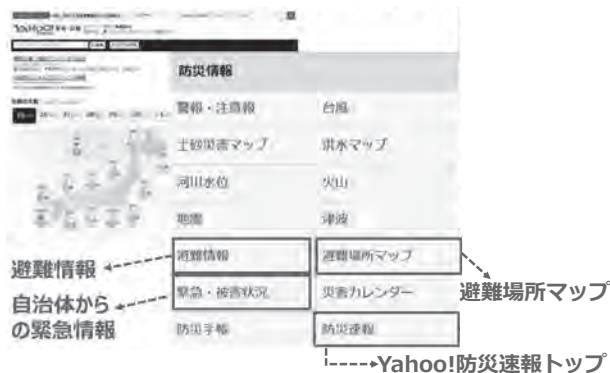
②被害情報や避難所開設・指示等の情報を発信

災害時に被害状況、ライフライン情報、避難所開設や避難指示等の情報を「Yahoo!JAPAN」に掲載し、広く周知を図ります。

③避難所等の防災情報の掲載

平常から町内の避難所等の防災情報を「Yahoo!JAPAN」に掲載し、広く周知を図ります。

また、「Yahoo!防災速報」アプリから緊急情報も発信されるようになります。アプリから緊急情報を受け取る場合は、「Yahoo!防災速報」のアプリをダウンロードし、通知対象地域に「奥出雲町」を登録するか、位置情報の利用をオンにしてください。



＜アプリのダウンロードは次のURLから行ってください＞



奥出雲町特定地域づくり事業協同組合設立

株式会社奥出雲振興などの町内5事業者は、「奥出雲町特定地域づくり事業協同組合」を設立するため、2月9日に役場仁多庁舎にて設立総会を開催しました。

この協同組合は、地域人口の急減に直面する地域で、農業や観光産業等の担い手を確保することを目的とした国の「特定地域づくり事業協同組合制度」に基づき、立ち上げられました。

特定地域づくり事業とは、季節ごとの労働需要に応じて複数の事業所に従事する労働者派遣事業です。労働者は、協同組合に参加した町内5事業者の仕事の組み合わせることで、年間を通して仕事に就くことができ、安定的な雇用環境と一定の給与水準を確保することができます。

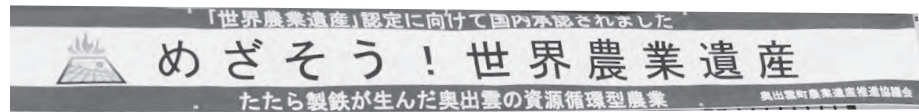
株式会社奥出雲振興の勝田代表取締役は「町の振興発展に尽くすよう、事業を成功させます」と抱負を述べました。

＜協同組合に参加した町内5事業者＞

- ・株式会社奥出雲振興
- ・奥出雲仁多米株式会社
- ・一般社団法人奥出雲町農業公社
- ・株式会社仁多堆肥センター
- ・一般社団法人奥出雲町観光協会



(右から)
仁多堆肥センター町谷理事、奥出雲町農業公社高橋代表理事
奥出雲振興 勝田代表取締役、奥出雲町観光協会植田理事
奥出雲仁多米 内田管理部長



役場仁多庁舎に掲揚された横断幕

「たたら製鉄が生んだ奥出雲の資源循環型農業」が 世界農業遺産候補に承認されました

奥出雲町農業遺産推進協議会が、昨年7月に再申請をした「たたら製鉄が生んだ奥出雲の資源循環型農業」を世界農業遺産の候補に承認したと2月19日に農林水産省から発表がありました。

これを受け、役場仁多庁舎には、「めざそう！世界農業遺産」と書かれた横断幕が掲げられました。勝田町長は「代々受け継がれてきた農業、暮らしや景観などを次世代へ継承していきます。また、仁多米や奥出雲和牛などのブランド力の強化、農泊や体験交流、観光客の誘客等により地域経済の活性化を目指します。」と世界農業遺産認定への意気込みを新たにしました。

今後、同協議会は、認定申請書を英訳し、国連食糧農業機関（FAO）に提出する予定です。FAOによる書類審査や現地調査を経て、世界農業遺産認定が決定されます。

＜今回世界農業遺産への認定申請が承認された地域＞

- 山形県最上川流域
最上川流域の紅花システム～歴史と伝統がつなぐ山形の「最上紅花」～
- 埼玉県武蔵野地域
大都市近郊に今も息づく武蔵野の落ち葉堆肥農法
- 島根県奥出雲地域
たたら製鉄が生んだ奥出雲の資源循環型農業

＜これまでのあゆみ＞

世界農業遺産への申請は、農林水産省が行う国内審査の承認を得た地域のみが可能です。

年月日	内容
2019年2月15日	「たたら製鉄に由来する奥出雲の資源循環型農業」が日本農業遺産に認定(中国地方初)・世界農業遺産候補からは外れる
2020年7月22日	世界農業遺産認定申請の承認を得るため農林水産省へ申請書を再提出
2020年9月18日	1次審査(書類審査)通過
2020年12月1日	世界農業遺産等専門家会議委員による現地調査
2021年1月27日	2次審査(プレゼンテーション・質疑応答)
2021年2月19日	「たたら製鉄が生んだ奥出雲の資源循環型農業」が世界農業遺産候補として承認

■「世界農業遺産」とは？

「世界農業遺産」は、世界的に重要かつ伝統的な農林水産業を営む地域を国連食糧農業機関(FAO)が認定する制度です。「世界農業遺産」の認定により、地域の農業や環境とともに育まれた文化や技術、景観、生物多様性などを「農林水産業システム」として一体的に保全し、継承していくことを目指しています。

■「世界遺産」との違い

ユネスコの世界文化遺産は、遺跡や建造物といった有形の「不動産」が対象であり、現状を変えないのが基本です。一方、世界農業遺産は、代々受け継がれてきた知恵という無形の遺産が対象であり、社会や環境に適応しながら、「農林水産業システム」を継承し、持続していくことに重きがおかれます。持続可能な農業に必要な新たな技術などを取り入れることが可能であり、未来へと受け継がれる「生きている遺産」と呼ばれています。

明治安田生命保険相互会社木次営業所から寄附金をいただきました

新型コロナウイルス感染症対策を支援するために、明治安田生命保険相互会社から10万円の寄附金をいただきました。

2月24日に、役場仁多庁舎で行われた贈呈式には、明治安田生命保険相互会社木次営業所の澤田所長らが出席されました。

全国の明治安田生命保険相互会社では、新型コロナウイルス感染症を踏まえた社会貢献の取り組みで行っている「地元元気プロジェクト」の一環として、各支社・営業所等のゆかりのある地域へ寄附を行ってられます。

明治安田生命保険相互会社木次営業所の澤田所長は「住民の皆さまの元気を取り戻す一助になるといいです」と述べられました。

いただいた寄附金は、新型コロナウイルス感染症対策のために有効に活用させていただきます。



明治安田生命保険相互会社木次営業所の澤田所長(右)

おめでとう
ございます

阿井幼稚園



いくぞ〜!

馬木幼稚園



がんばるぞー!!



元気にいくぞ〜

亀嵩幼稚園



えいえい、おー!!

三沢幼稚園



すてきなポーズで
ハイ、チーズ

布勢幼稚園

みんななかよし

三成幼稚園



4月からいよいよ小学1年生。
町内の幼稚園で入学式を
心待ちにしている
元気な子どもたちを紹介します。

4がつから
1ねんせい



横田幼稚園

べんきょうがんばるぞ!



八川幼稚園

もうすぐ
ピカピカの
1年生

奥出雲病院の分娩の取り扱い休止（令和3年3月から）と今後の産婦人科外来について

分娩の安全確保のため、分娩取扱医療機関においては複数名の産科医体制が全国的に標準とされています。当院においては、この体制確保が困難な状況であり、妊産婦さんや赤ちゃんの安全を第一に考え、令和3年3月よりやむなく分娩を休止することとしました。分娩休止に先立っては、分娩を控える妊産婦さんにご迷惑にならないよう昨年の町広報8月号及び9月号や当院ホームページで広くお知らせしております。町民の皆さまや里帰り分娩を希望される方々には大変ご不便とご迷惑をお掛けすることとなりますが、ご理解のほどよろしくお願い致します。

なお、今後の産婦人科外来の対応については下記のとおりです。

- ①産婦人科外来では妊婦健診や産後健診、乳腺炎、婦人科疾患の診療を引き続き行います。
- ②令和3年3月以降の分娩については、妊娠後期に妊産婦さんと相談のうえ、他の医療機関を紹介します。
- ③助産師外来（妊婦健診、育児相談）を引き続き行い、妊産婦さんの悩みや心配ごとの相談を伺います。



【お問い合わせ】町立奥出雲病院 有線:31-5700 電話:54-1122(代)

マイナンバーカードの休日交付のご案内

マイナンバーカードを申請し、町から交付通知が届いている方を対象に、休日交付を行っています。今年度までは毎月1回、日曜日に行っていましたが、令和3年度からは毎月2回行います。お仕事等で平日の開庁時間内にお越しになることが困難な方はぜひご利用ください。なお、混雑緩和、持ち物確認等のため、事前の予約制となっています。前々日の13:30までに予約の電話を必ずお願いします。（当日予約不可）

●実施日

毎月2回、日曜日に実施します。時間は9:00～12:00です。

令和3年4月	11日、25日	10月	10日、24日
5月	9日、23日	11月	14日、28日
6月	13日、27日	12月	12日、26日
7月	11日、25日	令和4年1月	9日、23日
8月	8日、29日	2月	13日、27日
9月	12日、26日	3月	6日、13日



●交付場所及び予約先

町民課（役場仁多庁舎） 有線：31-5103 電話：54-2510

●必要書類

- ①交付通知書（ハガキ） ②通知カード（お持ちの方のみ） ③住民基本台帳カード（お持ちの方のみ）
④本人確認書類

- ・1点で確認できるもの（官公庁が発行したもので、顔写真付きのもの）
運転免許証、パスポート、在留カード、身体障害者手帳等
- ・2点必要なもの（「氏名+住所」または「氏名+生年月日」が記載されたもの）
健康保険証、介護保険者証、学生証、各種医療受給者証、年金手帳、年金証書等

※15歳未満の方は、法定代理人の方と一緒に来庁してください。本人及び法定代理人の方の本人確認書類が必要です。

今年で3年目！！地域づくりアクション発表会R3（前編）

「今年で3年目！！地域づくりアクション発表会R3」が2月7日に、カルチャープラザ仁多で開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が計画通りに進まない中、小さな拠点づくりに取り組む7地区の皆さんが、感染の防止対策を行いながら今年度実施をした取り組みや来年度の取り組みについて発表されました。前編では4地区の発表の一部を紹介します。後編は広報奥出雲4月号に掲載します。

＜鳥上地区＞

【R2年度の取り組み】

観光資源を活用した「まるごと鳥上を売り出す作戦！」として「斐乃上荘湯快祭」を実施。地区内生産者による新鮮野菜、女性グループが手作りしたこんにやく等の販売、高齢者を対象とした健康サロンや防災グッズの紹介等を行った。



斐乃上荘湯快祭の様子

【R3年度以降の取り組み】

斐乃上荘を中心として、船通山登山者やわくわくプール利用者の更なる利用を促進するため「とりかみ市場」の定期的な開催、ウォーキングやトレラン等のイベント開催、斐乃上荘周辺の遊歩道やキャンプ場などの施設整備を行っていきたい。

＜三成地区＞



「さんさん号」運行グッズ

【R2年度の取り組み】

- ・高齢者・交通弱者の移動手段確保のため、お試し乗合便「さんさん号」を三所地区だけでなく、高尾地区や三沢地区まで範囲を拡大し、加藤医院・奥出雲病院・サンクスを回るルートで運行。
- ・三成地区（三所・高尾を除く）の空き家調査が終了し、空き家の状況を把握。

【R3年度以降の取り組み】

10年先の未来予想図の実現に向け、事業者と共存共栄できる地域輸送活動の仕組みづくりを行いながら、ドライバーの確保や利用者登録の推進に努めていきたい。また、空き家を活用して三成地区の魅力アップを図りたい。

＜三沢地区＞

三沢地区防災研修会の様子▶

【R2年度の取り組み】

- ・地区のために新規活動を行う団体を助成する「みざわチャレンジ応援金」を創設し、高齢者と若者による「野菜で元気プロジェクト」や女性グループによるフリマやカフェの開催などの5つの自主的な活動が生まれた。
- ・三沢地区防災研修会を開催し、自治会の支え合いが見える化した自治会「支え愛マップ」を作成した。



【R3年度以降の取り組み】

学生や高齢者の活躍の場づくりや自治会で支え合う地域防災の仕組みをつくっていききたい。また、みざわチャレンジ応援金などにより活動が継続できる仕組みをつくっていききたい。

＜阿井地区＞



会議の様子

【R2年度の取り組み】

- ・2018年から小さな拠点づくりについて自治会長会にて勉強会を開始し、地域防災の体制を整備。2020年9月に本格的に活動を開始し、「防災組織づくり部会」と「くらし支援づくり部会」の2部会を設置。

【R3年度以降の取り組み】

「防災組織づくり部会」では、組織図と連絡網の実効性の検証として、防災訓練を計画。「くらし支援づくり部会」では、困りごと相談受付と実践部隊の体制を整備していききたい。



家計が苦しいなど、生活のことでお悩みはありませんか？

『解雇、離職等により、収入が減り家賃が払えない』『仕事を探しているが、見つからない』『今まで働いた経験がなく不安』『家族などが長期間ひきこもっていて心配』など生活の不安や問題をご相談ください。相談は無料で秘密は厳守します。窓口にお越しいただけない場合は状況に応じて自宅にも訪問します。

また、一定の要件を満たす方には以下の事業も実施しております。

■住居確保給付金の支給

離職などで住むところがなくなった方や、住む場所を失うおそれが高い方には、就職活動をするを条件に、一定期間、家賃相当額を支給します。

■家計改善支援事業

家計状況の「見える化」と根本的な課題の把握を行い、相談者が自ら家計を管理できるように支援します。

■就労準備支援事業

「社会に出ることに不安がある」等、直ちに就労が困難な方に、就労に向けた支援や就労機会の提供を行います。

■子どもの学習支援事業（中学生、高校生対象）

子どもの学習支援を始め、進学に関する支援等を行います。

【お問い合わせ】 奥出雲町福祉事務所（役場仁多庁舎2階）
生活支援グループ 有線：31-5372 電話：54-2541

横田
高校

横田高校の活動をお知らせする「よここうコーナー」 横高で一晩泊まって避難してみた！

もし、災害が自分たちの身近なところで起こったら、私たち高校生に何ができるのか、避難所体験を通して、リアルに感じ、考えてみたい。そのような思いから、2月6日（土）夕方から2月7日（日）朝にかけて、高校で一泊の避難所体験を行いました。

奥出雲町からは、段ボールのパーテーション・ベッド、またアルファ化米やカロリーメイトなどの災害用の備蓄品を支給していただきました。夜の教室では、HUG（避難所運営ゲーム）を通しての避難所の運営の仕方を学んだり、コロナ禍での救急救命の方法を学んだり、貴重な経験となりました。

☆参加メンバーの感想（一部抜粋）

- 災害やけがなどで困っている人がいたら、自分から進んで助けられる人になりたい。
- 普段から、災害時のためにできる備えや確認をしたい。
- 実際の避難所では、今回の体験以上に難しい問題があると思いますが、今回学んだことを生かして、適切な状況判断のもと、自分から行動できる人になりたいと思いました。
- 実際に体験したからこそ、イメージできたことも多かったと思うので、今後につながるいい経験になったと思いました。

*生徒会誌『碧窓』より抜粋、一部改変。



認知症かな
と思ったら

「奥出雲町認知症ケアパス」 高齢者の暮らしあんしん帳

町では認知症について必要な情報をわかりやすくまとめた冊子『奥出雲町認知症ケアパス 高齢者の暮らしあんしん帳』を作成しています。

冊子では、「認知症チェック」「認知症について」「認知症の方との接し方」「相談先」「集いの場」「高齢者等見守りネットワーク」などを掲載しています。冊子は、無料配布していますので、ご希望の方は、下記のお問い合わせへご連絡下さい。

また、インターネットで「奥出雲町認知症ケアパス」で検索をすると見ることができます。

【お問い合わせ】 奥出雲町地域包括支援センター 役場仁多庁舎2階
有線：31-5135 電話：54-2512



～出張年金相談窓口の開設日について～

松江年金事務所では町民の皆様の利便性を図るため、島根社会保険労務士会の協力により年金相談を実施しています。来年度の相談日は次のとおりです。

2021年度カレンダー

会場：奥出雲町役場仁多庁舎・横田庁舎

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
仁多	16日 (金)	7日 (金)	18日 (金)	2日 (金)	6日 (金)	3日 (金)	15日 (金)	5日 (金)	3日 (金)	14日 (金)	4日 (金)	4日 (金)
横田	23日 (金)	21日 (金)	25日 (金)	16日 (金)	27日 (金)	24日 (金)	22日 (金)	19日 (金)	17日 (金)	28日 (金)	18日 (金)	18日 (金)
予約相談開始時間 10:00 ～ 14:45 (終了予定15:30)												

年金相談は予約制です。ご予約は仁多・横田ともに「前日（前営業日）」までをお願いします。ご予約の際は年金手帳など基礎年金番号がわかるものをご準備ください。

予約なしで来場されたお客様は相談をお受けできない場合がございますのでご注意ください。また、予約時間を10分以上経過しても来られない場合は他のお客様の相談を行う場合がございます。

【ご予約・お問い合わせ】 松江年金事務所 電話：0852-23-9540
音声案内が流れますので「1」の後に「2」を押してください。
「奥出雲町（仁多・横田）での出張相談の予約」とお伝えください。

「鍵掛け」のすすめ！



鍵掛けは、簡単で、効果的な 防犯対策です

新生活を迎える方はこの機会に
防犯対策等について考えましょう



Point!

〈自転車盗〉

自転車は10秒あれば盗まれる！
ちょっとした手間で被害は防げます！
ツーロックするとさらに被害を軽減！

Point!

〈空き巣などの侵入盗〉

在宅中はもちろん、「ちょっとそこまで…」
ごみ出しや買い物の時も！
犯人は心のスキを狙っています！



Point!

〈車上ねらい〉

コンビニ・スーパーなどでの
買い物中も鍵を掛けて！
車内に貴重品は置かないで！



4月の 行事予定

★★古紙回収★★ (問)町民課54-2510		
鳥上	鳥上コミセン	17日(土)
横田	横田コミセン横／役場横田庁舎裏	
八川	八川コミセン／三井野原ふれあいセンター	3日(土)
馬木	馬木コミセン／ゆうげ交流センター下隣倉庫	
布勢	布勢コミセン	10日(土)
阿井	家畜集合施設／下阿井運動広場	
三沢	三沢公民館	
三成	役場仁多庁舎玄関横／下高尾旧消防格納庫	24日(土)
亀嵩	亀嵩基幹集落センター／鳥谷木材店車庫	

★★乳児健診★★ (問)健康福祉課54-2781				
7・8か月児健診	22日(木)	令和2年8月・9月生	13:30～13:45	奥出雲健康センター
10・11か月児健診		令和2年5月・6月生	13:00～13:15	
1歳6か月児健診	8日(木)	令和元年8月・9月生	13:00～13:15	

★★健康に関する相談★★				
こころの健康相談日	5日(月)	14:00～15:00 (予約制)	役場仁多庁舎	(問)健康福祉課 54-2781
歯と口の健康相談室	15日(木)	10:00～12:00 (予約制)		(問)地域包括支援センター 54-2512
物忘れ相談会	30日(金)	8:30～16:30	雲南保健所	(問)雲南保健所 42-9642
こころの健康&もの忘れ相談	13日(火)	13:00～15:00 (予約制)		
アルコールによる困りごと相談	19日(月)	13:00～15:00 (予約制)		

★★結婚・子育てに関する相談★★				
結婚・子育て コンシェルジュ相談所	18日(日) 27日(火)	10:00～15:00	カルチャープラザ仁多 横田コミュニティセンター	(問)結婚・子育て応援課 52-2206
結婚相談所「はぴこ」	11日(日)	10:00～15:00 (予約制)	カルチャープラザ仁多	(問)090-2860-2082 (渡部)
	13日(火)	13:30～15:30 (予約制)		

★★その他の相談★★				
出張年金相談	16日(金)	10:00～15:30	役場仁多庁舎	(予約先)
	23日(金)	(予約制)	役場横田庁舎	松江年金事務所 0852-23-9540

★★イベント★★ (問)奥出雲多根自然博物館54-0003		
素読論語「仁多志学塾」	14日(水)	奥出雲多根自然博物館

協会けんぽ島根支部の
加入者・事業主の皆さまへ

令和3年3月分(4月納付分)からの保険料率をお知らせします

●健康保険料率 ※任意継続被保険者の方は4月分(4月納付分)から変更
令和3年2月分(3月納付分)まで 10.15% 引下げ 10.03%
健康保険料率 引下げの主な理由 皆さまの健康づくりへの取り組み(「インセンティブ制度」)が、全47支部中
全国第1位と評価されたため(0.12%引下げのうち0.057%分)

●介護保険料率 ※40歳から64歳までの方(介護保険第2号被保険者)は
健康保険料率に介護保険料率が加わります。
令和3年2月分(3月納付分)まで 1.79% 引上げ 1.80%

引き続き、健康づくりへの取り組みを評価する5項目を一緒に取り組みましょう!

1. 健診を受診する 2. 保健指導を受ける 3. メタボを解消する 4. 精密検査をきちんと受ける 5. ジェネリック医薬品を使う

保険料率
引き下げ

◇お問い合わせ先◇ 〒690-8531松江市殿町383山陰中央ビル2階 全国健康保険協会島根支部 ☎0852-59-5140(平日8:30～17:15)

みんなの掲示板

2021年度 移動ナースバンクの実施

島根県ナースセンターでは、就業を希望している看護職に対し、求人情報の提供及び就業の斡旋、就業のために必要な相談及び研修等を行っています。

また、雲南圏域の看護職・求人施設の相談者に対しての相談も行っています。

◆相談日

毎月第2水曜日

◆時間

13時～16時

◆場所

ハローワーク雲南

(雲南市木次町里方514-2)

◆お問い合わせ

島根県ナースセンター

☎0852-27-8510

令和3年度 「豊かな人生の学び舎くにびき学園」 東部校受講生募集

くにびき学園は、実践的なフィールドワークや現地学習、地域団体との交流の場などを通じ、卒業後に地域の中で楽しくやりがいをもつて、いきいきと活動できるような学びを提供します。

◆就学期間

2年間

(令和3年9月～令和5年8月)

◆開校日

毎週金曜日(年間40日程度)

◆学習拠点

いきいきプラザ島根

(松江市東津田町1741-3)

◆定員

50名程度

◆受講資格

・原則として県内に在住で、学習意欲が旺盛であり、かつ地域活動に関心のある方。

・60歳以上の方を基本としますが、それ以下の年齢の方の受講も可能です。

・シマネスクくにびき学園卒業生の受講も可能です。

◆授業料等

受講申込金1万円

受講料年額1万8000円

損額保険料年額2500円程度

※受講に係る諸経費・学生自主活動等に係る諸経費は個人負担となります。

◆募集要項・願書

市町村社会福祉協議会や各公民館で配布しています。

※ホームページからもダウンロード可能です。

◆出願期限

令和3年6月30日(水)必着

◆お問い合わせ

くにびき学園東部校

(島根県社会福祉協議会)

☎0852-32-5981

ホームページ

https://www.kunibiki-

gakuen.jp/

く口座振替のお知らせ

税金・使用料など公共料金の
3月分の口座振替は
3月31日(水)です。

今回の振替は次の十三項目です。

- 国民健康保険税(第9期)
- 後期高齢者医療保険料
- 情報通信使用料
- 水道使用料
- 下水道使用料
- 保育料
- 住宅使用料
- 住宅駐車場使用料
- 住宅共益費
- 老人ホーム入所費用等徴収金
- 訪問看護利用料
- 介護サービス利用料
- 介護老人保健施設利用料

*納税通知書等で金額をご確認いただき、今一度通帳残高をお確かめいただきますようお願いいたします。

下水道使用料金(公共・農業合併)について

◎使用人数の変更(転入・転出・出生・死亡)があった場合は、速やかに役場水道課へ届出をして下さい。使用人数によって使用料金が変わります。

- 今月のピックアップ -

『湖の女たち』

琵琶湖近くの介護療養施設で、百歳の男が殺された。捜査で出会った男と女——謎が広がり深まる中、刑事と容疑者だった二人は、離れられなくなっていく。一方、事件取材する記者は、死亡した男の過去に興味を抱き旧満州を訪ねるが……。昭和から令和へ、日本人が心の底に堆積させた「原罪」を炙りだす、慟哭の長編ミステリー。

(出版社紹介より記載)

カルチャープラザ仁多図書室

「風よあらしよ」

村山 由佳 著

「滅びの前のシャングリラ」

風良 ゆう 著

「父と娘の認知症日記」

長谷川 和夫 著

「人は、なぜ他人を許せないのか？」

中野 信子 著

「きみの声がききたくて」

オーウェン コルファー 作

「パンどろぼう」

柴田 ケイコ 作

「おべんとうめしあがれ」

視覚デザイン研究所さく

4月の休室日

月曜日、祝日

月末休室(30日)

横田コミュニティセンター図書室

「天を測る」

今野 敏 著

「境界線」

中山 七里 著

「食べることを考えること」

藤原 辰史 著

「図解でよくわかる」

スマート農業のきほん

小学生なら知っておきたい

もっと教養366

「サンドイッチにはさまれたいやつ」

齋藤 孝 著

「ゆきのけつしよう」

岡田 よしたか 著

武田 康男 監修 写真

4月の休室日

日曜日、祝日

環境にもお財布にも
やさしい生活にチャレンジ!!

『賢い選択』 COOL CHOICE

未来のために何をすると良いか知りたい人、日本中の脱炭素社会への取組みが知りたい人、地球温暖化について知りたい人。知りたい人、学びたい人、やりたい人、COOL CHOICEをチェックしよう



政府は、脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買換え」、「サービスの利用」、「ライフスタイルの選択」など地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動「COOL CHOICE」を推進しています。

地球温暖化防止対策地域協議会・エコナйт
(奥出雲町在住しまねエコライフサポーターの会)



未来のために、いま選ぼう。